

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 5月13日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102295
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア-学園北
所在地	奈良県奈良市学園朝日町6-11-1 (電話) 0742-52-8558
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年5月2日

【情報提供票より】(20年2月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 7月 10日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 3人, 非常勤 5人, 常勤換算 6.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造
	2階建て 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,100 円	その他の経費(月額)	19,750 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	100,000円	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	700 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月14日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	名		
年齢	平均 79歳	最低	65歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医) 社団虎ノ門記念会学園前診療所・狩山歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>当ホームは閑静な住宅地の中に既存住宅を改装され事業開始されています。玄関の周辺には、様々な樹木の植栽がなされ落ち着いた雰囲気を醸し出しています。ホーム内は清掃が行き届き、また、安全面と自立促進への配慮がなされ、利用者も穏やかに本人のペースで生活されています。職員も利用者の人格の尊重と本人本位の支援理念の具現化に努められています。</p>
--

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>認知症ケアのあり方やホームに対する理解・協力を進める取り組みとして、「ホームだより」の発行・配布がなされるようになりましたが、地域社会との関りについて一層強められる事を期待します。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価する事の意義・目的を正しく認識され、全職員の参画の下に取り組み、課題等の把握と質の向上に活かすこととされています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>行政や地域の諸団体代表及び家族代表等で構成された運営推進会議が設置され、利用者の状況や生活の様子の説明と共に、今後の取り組みや展望について活発な意見交換等がなされ、会議設置の趣旨が活かされています。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族等の訪問時に、暮らしの様子を伝えると共に利用者や家族の希望や意見等を積極的に聞き出し、サービスに活かす取り組みがなされています。また、運営推進会議でも意見等の開陳を求められています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域にある諸活動団体には未加入である事から、地域・住民との繋がりは希薄なものがりますので、「ホームだより」の発行・配布を契機に、地域密着型に制度改正された趣旨を踏まえ、地域住民等の積極的な交流に取り組みられることを期待します。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境の下に、安心と尊厳ある生活支援を基本とする運営理念が作られています。		地域密着型サービスに制度改正されたことから、地域との関りをより重視されています。実質的に住民との交流が広がりつつありますが、運営規定にこうした視点を明確に位置づけられ、一層の地域との交流促進を期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケース会議等の機会あるごとに、理念の共有と実践に活かす事が話されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域にある諸活動団体には未加入であることから、地域・住民との繋がりは希薄なものとなっています。		ホームに対する理解・協力を得る手法として「ホームだより」の発行・配布に取り組まれています。利用者が住みなれた環境の中で暮らし続けるためには、地域社会との交流は欠く事が出来ない大きな要素でありますので、広報活動と共にホームも地域社会の一員として社会活動にも積極的に参加される事を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解されており、自己評価は全職員の参画の下に現状の把握と改善点を確認する機会と捉え実施されています。なお、外部評価結果は職員に周知し、サービスに活かす取り組みがなされています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政側職員や地元関係自治会・民生委員・家族代表等による運営推進会議が設置され、利用者の状況や生活の様子説明と共に今後の取り組みや展開について活発な意見交換がなされ、サービスの向上に活かすよう取り組まれています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政とは定例的な報告程度で、十分な連携を図るまでに至っていない様に思われます。		地域密着型サービスに位置づけられたことから、運営上の課題解決やサービスの質の確保の上からも行政との連携は極めて大切な事ですので、積極的な連携と協働関係作りを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、手紙に暮らしの様子や行事の写真を添付して報告がされ、家族の訪問時にも必要な事項は報告されています。なお、健康状態に変化が見られる時には随時連絡する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の訪問時に、暮らしの様子を伝えと共に利用者本人や家族の希望や意見を聞き出し支援に活かす取り組みがなされています。また、運営推進会議で意見等を聞くこととされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の継続には、職員との馴染みの関係にあることも大きな要因であるとの考えから、異動等には十分な配慮を心がけられています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人本部で年間計画の下に管理者研修が実施され、職員にとっては、段階に応じた外部研修を積極的に受講されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	提供しているサービスの質を客観的に見るためにも、同業者との相互訪問等も必要と考えられていますが、研修会等での意見交換程度に留まっている現状にあります。		同業者との交流(相互訪問・学習会等)の機会確保への検討がなされていますので、実現を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	環境の変化は、本人の心理面への影響が大きいことに配慮され、ホームを家族と一緒にゆっくり見学してもらい、時には利用者と共に過ごす場面を設定し、安心・納得した移行に繋げる取り組みがなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の経験や特技が生かせる場面作りに工夫され、共に学び支えあう姿勢を大切に支援されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用前の生活層等を把握されると共に、暮らしの中の言動等から意向や思いの把握に努められています。なお、本人の思い等を感じた時は日誌に記録する事とされています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、身体的ケアとその人らしさを引き出す計画とするため、関係者が相談して作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に関らず、毎月のカンファレンス会議で検討する仕組みがあり、身体的・精神的に変化が生じた場合は、現状に即した計画への見直しが随時に行う事とされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案され、通院や買い物或いは入・居時の支援等ニーズに合わせて柔軟な取り組みがなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望者には、家族の協力を得ながらかかりつけ医の受診がなされています。また、定期的に協力医の往診があり適切な医療の確保が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期へのあり方は、模索中の段階にあります。		本人や家族にとって終末期への対応は大きな関心事の一つでありますので、克服すべき課題は多くありますが、ホームとしての明確な方針の樹立と職員との方針の共有化への取り組みを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを大切に、言葉や行動に注意され支援されています。なお、各種記録類については、決められた場所・方法で管理され、その取り扱いについても学習されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れの設定がありますが、本人の体調に配慮しながら、一人ひとりのペースや意向に沿った支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、生活の中の楽しみの一つであることから、利用者の能力の範囲で食事の準備や後片付けに協働され、また、職員も同じテーブルで見守りながら一緒に食事し楽しい雰囲気作りに努められています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定がありますが、本人の希望に合わせた支援がなされています。		職員の勤務の都合もあり、夜間での入浴の取り組みがなされていませんが、利用者の希望に沿うためへの工夫・検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や下・配膳・洗濯物の整理等の生活活動や特技・趣味が活かせる場面作りに工夫され、利用者の楽しみのある豊かな暮らしへの支援がなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもりによる弊害を認識され、周辺の散歩や買い物等一人ひとりの状態や希望を見極め積極的に支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害は認識されていますが、安全確保の意識が優先され玄関は施錠されています。		鍵を掛けないケアの実践に向けた検討がなされていますので、早急に実現される事を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元消防署の指導の下に、定期的に避難訓練が実施され、職員も誘導手順等の理解があります。また、緊急通報装置の設置がなされています。		火災発生時には、利用者を迅速・安全に屋外に誘導する事が極めて重要であります。とりわけ手薄になる夜間等は周辺住民の応援・協力は不可欠でありますので、協力体制の整備と震災を想定して、最小限の非常物品の備蓄について検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取・補給量は詳細にチェックされ記録されています。また、栄養バランスについても偏りがないうような食材に配慮され、利用者の状態に合わせた調理に工夫し提供・支援がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気づくりにと季節感を演出するため、季節に応じた飾りつけに工夫されると共に、ソファ等が配置され思い思いに過ごせる空間が確保されています。また、ホーム内各所の清掃も行き届き不快感を与えないよう努められています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や好みの品等が持ち込まれ、安心して暮らせる場所となっています。		